

## 第 1 回検討委員会における主な意見

項目	意見
整備コンセプトや機能、導入施設の方向	阿賀野市の魅力は「人」。「道の駅」で人の和の創出が必要。
	自然、癒し、観光がイメージ。
	阿賀野市の全ての情報発信を行い、市の認知度を上げる。にぎわい、憩いの場なども必要。
	阿賀野市には総合的に情報発信をする場がない。案内人を配置して総合的な情報発信することが必要。
	「農業+観光」をコンセプトとし、それらをインフォメーションすることが必要。
	情報発信など「道の駅」に必要な機能。
	阿賀野市は「酪農の発祥の地」であることを情報発信する。また、搾乳、チーズ工房など体験型加工場があると子供が喜ぶ。牛や動物に触れ合う場もあるとよい。
	新潟市から阿賀野市に入り、トイレ休憩や情報収集ができ、旅の気分になれるとよい。
	国道 49 号バイパスを活かして阿賀野市の魅力を発信し、地域を回遊してもらえるとよい。
	「道の駅」を介して人を誘導し、地域でお金を使ってもらう仕掛け必要。
	公園が必要。
	自然を生かした公園が良い。
	イベントを実施できるとよい。
	子供連れや高齢者来てもらい、常に人がいてにぎやかな場としてほしい。
	収穫した人が直接販売できるとよい。
	その場でないと味わえない食べ物を販売するとよい。
	授乳施設の利用も考えてほしい。
阿賀野市の温泉や宿泊施設、避難訓練の場としての活用や、非常食の作り方体験など、独自の防災の拠点になるとよい。	
レイアウト	駐車場は、国道と堤防道路の両方から利用できるとよい。
	河川に隣接している中で防災機能を提供するので、道路の高さに留意すべき。
投資規模	阿賀野市の「道の駅は、どのくらいの規模と予算を考えているのか知りたい。